

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：科学的知見の創出に資する可視化分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>本分科会は24期に設置され、総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会より23期に発出した提言内容の具体的な実践について活動を行うために2つの小委員会を設置し、報告「科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム策定—」を発出した。</p> <p>ビッグデータ・オープンデータ時代において、人間がデータを認識するために可視化の重要性がより広く理解されている。また、人工知能時代の到来により、可視化に対して、さらなる期待が加わった。しかしながら、可視化をどう評価するか、可視化研究コミュニティをどう形成していくか、そして科学教育に可視化をどう活用するのがよいかについては、十分な議論が行われているとは言い難い。また、人類の幸せのための方法論創造のために、社会からの期待をどのように俯瞰したらよいか明らかではない。</p> <p>そこで、本分科会では、26期以降の課題別委員会設置を目指し、報告内容の深化に焦点をあて、以下の事項を審議する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 俯瞰性・発見性・共感性の観点で、可視化の効能を測定するための指標に関する事項 2. 日本における可視化研究を推進するための研究コミュニティの形成に関する事項 3. 科学的方法の教育における、可視化の活用に関する事項 4. 社会からの期待の俯瞰における、可視化の活用に関する事項 <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年10月29日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期より継続